

2 項目別評価 総括表

公立大学法人福島県立医科大学

評価項目		公立大学法人自己評価							評価委員会評価		
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項	
第1	大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置	A	3	B	142	C	9	D	2	II	
		一部計画を下回っており、このうち2項目については計画を大幅に下回っているが、概ね計画どおり実施し、一定の成果をあげた。									
1	教育に関する目標を達成するための措置	A	0	B	60	C	1	D	2	II	
		2項目については計画を大幅に下回っているが、概ね計画どおり実施し、一定の成果をあげた。									
(1)	入学者受入方針及び入試制度に関する目標を達成するための措置	A	0	B	9	C	0	D	1	II	入試ガイダンスや入試説明会の実施、県内高等学校との懇談会や関連団体に対する入学者募集の周知を積極的に行ったことは評価できる。 また、医学部では、国・県と調整を図り、平成25年度入学定員を5名増員し130名としたことは評価できる。
		医学部では一般入試のほか推薦入試と私費外国人入試を、看護学部では一般入試のほか推薦入試、社会人入試及び私費外国人入試を実施した。また、定員増分の選抜方法を検討し、一般入試の地域枠の募集人員を増やすなど、概ね計画どおり実施した。									
(2)	教育内容及び教育の成果等に関する目標を達成するための措置	A	0	B	34	C	1	D	0	II	医学部においては、「福島学」や「衛生学・公衆衛生学実習」、「地域医療コース」等を実施し、健康問題はもちろんのこと、地域での医師のあり方を含め、「健康と地域」や「医療と地域」に学生の関心が広がるように指導したことは評価できる。 看護学部においては、県内病院等での実習を通して、変化する社会の多様なニーズを見据えながら看護を提供するための知識・技術を探求する態度を身に付ける指導を行ったこと、また偏りのない知識や視野を広げるため、教育課程の区分を設け人文科学分野及び自然科学分野の科目を開講したことは評価できる。 さらに、平成25年度からの会津医療センターでの臨床実習の実施に向けた取組は評価できる。
		学士課程においては、生命の尊厳や人間について深く理解する能力を育成するため、「歴史学」、「倫理学」、「生命倫理」などの教育を実施した。また、大学院課程においては、多分野にわたる最先端の研究法や知識を幅広く習得させるため、学外から講師を招いて、博士・修士両課程とも必修科目として「大学院セミナー」を開講するなど、概ね計画どおり実施した。									
(3)	教育の実施体制に関する目標を達成するための措置	A	0	B	9	C	0	D	0	II	学生による授業評価の結果を担当教員にフィードバックし、授業改善に活用させるとともに、学生が授業に臨むに当たって参考にするように、評価結果と学生の意見等に対する教員の回答をホームページに掲載したことは評価できる。
		臨床教授制度の充実を図り、ティーチングアシスタント制度を積極的に活用するなど、概ね計画どおり実施した。									
(4)	学生への支援に関する目標を達成するための措置	A	0	B	8	C	0	D	1	II	医学部においては3・4年生に対する個別面談の実施や、看護学部の学園生活アドバイザーの配置等、個々の学生にきめ細かな指導・支援を行うための取組は評価できる。
		医学部では、担任制及びファカルティアドバイザー制度を実施し、看護学部では学生生活アドバイザーを配置するなど、概ね計画どおり実施した。									

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価							評価委員会評価		
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項	
2	研究に関する目標を達成するための措置	A	2	B	9	C	7	D	0	II	
		一部計画を下回っているが、概ね計画どおり実施し、一定の成果をあげた。									
(1)	研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置	A	1	B	6	C	3	D	0	II	県内企業を含む検査・診断薬企業群や製薬企業群との連携体制を整え、本格的に医薬品開発を推進したこと、各種セミナーや研究支援事業成果報告書、研究機器紹介等の情報発信や英語論文支援職員を増員するなど、研究活動を支援する取組は評価できる。
		学内全体の代表的な研究を「研究連携セミナー」により認知・評価し、次期重点研究につながると期待される学内研究プロジェクトについて各種支援を行うなど、概ね計画どおり実施した。									
(2)	研究の実施体制等に関する目標を達成するための措置	A	1	B	3	C	4	D	0	II	革新的医療機器実証事業(医師主導治験)を推進するため研究推進戦略室に治験調整事務局を設置し、治験コーディネータ等の採用・育成を行うなど、概ね計画どおり実施した。
		革新的医療機器実証事業(医師主導治験)を推進するため研究推進戦略室に治験調整事務局を設置し、治験コーディネータ等の採用・育成を行ったことは評価できる。									
3	地域貢献に関する目標を達成するための措置	A	1	B	14	C	0	D	0	II	
		概ね計画どおり実施し、一定の成果をあげた。									
(1)	地域社会等との連携・協力に関する目標を達成するための措置	A	1	B	8	C	0	D	0	II	県民向けの公開講座・講演会、シンポジウム等を開催するとともに、各種機関・団体からの依頼による講師派遣等に積極的に取り組んだことは評価できる。
		保健・医療に関する公開講座、講演会、シンポジウム等を9件開催した。また、県内各教育機関からの講師派遣依頼に対し、前年以上に対応するなど、概ね計画どおり実施した。									
(2)	地域医療等の支援に関する目標を達成するための措置	A	0	B	5	C	0	D	0	II	地域の医師不足解消のために、へき地医療の拠点病院や地域の救急・災害・周産期・感染症等の分野を担う民間病院等への医師の派遣、特に震災等の影響を受けた相双・いわき地区への派遣を重点的に行ったことは評価できる。
		地域の医師不足解消のため、教員をへき地医療の拠点病院や公的医療機関、地域医療や救急・災害・周産期・感染症等の分野に貢献していると認められる民間病院等へ派遣し、支援を行うなど、概ね計画どおり実施した。									
(3)	地域産業の振興に関する目標を達成するための措置	A	0	B	1	C	0	D	0	II	研究シーズを取りまとめホームページで公表したほか、リエゾン支援拠点部門にコーディネータを常駐させ企業等からの相談窓口の一元化を図るとともに、「メディカルクリエーションふくしま2012」への出展や産学官連携セミナーを開催するなどにより、企業とのマッチング(実績6件)を促進させたことは評価できる。
		リエゾン支援拠点にコーディネータを常駐させ企業と6件のマッチングを行った。また、メディカルクリエーションふくしま2012に出展したほか、産学官連携セミナーを3回開催するなど、概ね計画どおり実施した。									

2 項目別評価 総括表

公立大学法人福島県立医科大学

評価項目		公立大学法人自己評価							評価委員会評価		
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項	
4	国際交流に関する目標を達成するための措置	A	0	B	7	C	0	D	0	II	
		概ね計画どおり実施し、一定の成果をあげた。									
(1)	国際交流の推進に関する目標を達成するための措置	A	0	B	7	C	0	D	0	II	海外の放射線専門家と学生等との対話集会、ホールボディカウンター学術会議や放射線健康リスク管理福島学術会議を開催し、IAEAやWHO等海外の専門家との交流を深めたことは評価できる。
		中国武漢大学から教員3名を約3か月間受け入れるとともに、本学より教員2名を武漢大学に派遣し、医学部4年生4名を約1か月間留学させるなど、概ね計画どおり実施した。									
5	大学附属病院に関する目標を達成するための措置	A	0	B	52	C	1	D	0	II	
		一部計画を下回っているが、概ね計画どおり実施し、一定の成果をあげた。									
(1)	附属病院に関する目標を達成するための措置	A	0	B	46	C	1	D	0	II	臨床研修の充実、院外研修への専門職の派遣、医師や看護師等多職種による退院支援、患者等の視点に立った施設整備や栄養管理業務の改善、入院患者の平均在院日数短縮化の取組などについて評価できる。
		改正後の災害医療対策マニュアルが円滑に実施できるかの検証訓練を実施した。また、医師、看護師等他職種の共同による退院支援に取り組むとともに、6月から、看護部及び地域連携部で患者入院時に退院支援アセスメントを実施して支援の質の向上を図るなど、概ね計画どおり実施した。									
(2)	会津医療センターに関する目標を達成するための措置	A	0	B	6	C	0	D	0	II	会津医療センターの開業までに40数名の医師を確保したこと、また会津医療センターの臨床実習の体制を整備して、平成25年度には研修生4名、後期研修医6名の受け入れが決まったことは評価できる。
		担当理事、会津医療センター準備室長、準備副室長、準備室教授が出席する定期会議を実施し、各部門の進捗状況を把握して共通認識の下、円滑な開設を進めた。また、医学部5年生、6年生のBSLの受入プログラムを作成し、平成25年度の開設年度より臨床実習の受入体制を整えるなど、概ね計画どおり実施した。									

2 項目別評価 総括表

公立大学法人福島県立医科大学

評価項目		公立大学法人自己評価							評価委員会評価		
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項	
第2	東日本大震災等の復興支援に関する目標を達成するためにとるべき措置	A	0	B	12	C	0	D	0	II	
		概ね計画どおり実施し、一定の成果をあげた。									
1	県民の健康の保持・増進に関する目標を達成するための措置	A	0	B	4	C	0	D	0	II	県民健康管理調査を着実に実施するために、検査受診率向上の取組や、県民のニーズに合わせた広報・啓発活動を推進したことは評価できる。
		関係機関等との連携を図りながら県民健康管理調査を推進するなど、概ね計画どおり実施した。									
2	復興支援に関する目標を達成するための措置	A	0	B	3	C	0	D	0	II	医療-産業トランスレーショナルリサーチセンターを設置し、専門の9分野において研究活動を開始したことは評価できる。
		医療-産業TRセンターを設置し、専門の9分野（講座相当）にて研究活動を開始するとともに、駅前のビルの一角を改修し、本格的に研究を開始するなど、概ね計画どおり実施した。									
3	放射線医学の教育研究等に関する目標を達成するための措置	A	0	B	4	C	0	D	0	II	BSLプライマリーコースにおいて放射線災害医療を実施するとともに、カリキュラムに「放射線生命医療学」を取り入れたことは評価できる。
		平成25年度カリキュラムに「放射線生命医療学」を取り入れた。また、低線量被ばくモニター開発事業に関して、広島大学との共同研究契約を締結し事業を進めるなど、概ね計画どおり実施した。									
4	復興支援の連携・協力に関する目標を達成するための措置	A	0	B	1	C	0	D	0	II	IAEAと「健康の分野における協力に関する福島県立医科大学と国際原子力機関との間の実施取り決め」を交わすなど、関係機関との連携を推進したことは評価できる。
		国際原子力機関（IAEA）と「健康の分野における協力に関する福島県立医科大学と国際原子力機関との間の実施取り決め」を交わすなど、概ね計画どおり実施した。									
第3	管理運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置	A	1	B	51	C	4	D	0	II	
		一部計画を下回っているが、概ね計画どおり実施し、一定の成果をあげた。									
1	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置	A	0	B	12	C	2	D	0	II	
		概ね計画どおり実施し、一定の成果をあげた。									

2 項目別評価 総括表

公立大学法人福島県立医科大学

評価項目		公立大学法人自己評価						評価委員会評価			
		計画達成の状況						項目別評価	評価における特記事項		
(1)	組織運営の改善に関する目標を達成するための措置	A	0	B	10	C	2	D	0	II	東日本大震災及び原子力災害からの医療面での復興に向けた拠点の整備・運営に関する組織として「ふくしま国際医療科学センター」を設置したことは評価できる。
	事務等の効率化・合理化に関する目標を達成するための措置	A	0	B	2	C	0	D	0		
2	財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	A	0	B	4	C	2	D	0	II	
		一部計画を下回っているが、概ね計画どおり実施し、一定の成果をあげた。									
(1)	外部研究資金等の自己収入の増加に関する目標を達成するための措置	A	0	B	2	C	2	D	0	II	科学研究費助成事業の応募に向けて、説明会の開催や教授会における周知、記載手法等の指導や事務局職員による応募書類の事前確認などを行い、前年度より応募件数が増加したことは評価できる。
	経費の抑制に関する目標を達成するための措置	A	0	B	2	C	0	D	0		
3	自己点検・評価及び情報の提供に関する目標を達成するための措置	A	0	B	14	C	0	D	0	II	
		概ね計画どおり実施し、一定の成果をあげた。									
(1)	評価の充実に関する目標を達成するための措置	A	0	B	7	C	0	D	0	II	平成21年度から平成23年度までの教員の自己点検・自己評価について各学部教員評価委員会による評価を行い、その結果を各学部長に報告するとともに各教員に評価結果を通知し、その後の教育活動に反映させるように取り組んだことは評価できる。

2 項目別評価 総括表

公立大学法人福島県立医科大学

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会		項目別評価	評価における特記事項
		計画達成の状況											
		A	0	B	7	C	0	D	0				
(2)	情報公開や情報発信等の推進に関する目標を達成するための措置	従来は県の規則・要綱を準用していた「情報公開」及び「個人情報保護」に関する本学独自の規程・要綱を制定・施行した。また、教育情報ホームページを構築し公開するなど、概ね計画どおり実施した。								II	情報公開及び個人情報保護条例に関する大学独自の規程・要綱を制定・施行したこと、教育情報ホームページを構築し公開したことは評価できる。		
4	その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置	A	1	B	21	C	0	D	0			II	
(1)	法令遵守に関する目標を達成するための措置	A	0	B	6	C	0	D	0			II	コンプライアンスの徹底に関して、新規採用職員及び転入者、清掃員に対する研修を実施するとともに、研究者を対象にした法令遵守に係る講習会について、開催回数を前年度より増やすなどの取組は評価できる。
(2)	施設設備の整備・活用等に関する目標を達成するための措置	A	0	B	7	C	0	D	0			II	学生寮WGを立ち上げ、学生寮の再整備について検討したことは評価できる。
(3)	健康管理・安全管理に関する目標を達成するための措置	A	1	B	6	C	0	D	0			II	災害対策ガイドライン、災害対策マニュアルの概略をまとめた「大地震対応マニュアルポケット版」を作成・配付し、周知徹底を図ったことは評価できる。
(4)	情報通信基盤の整備・活用に関する目標を達成するための措置	A	0	B	2	C	0	D	0			II	情報漏えい防止ハンドブック(情報セキュリティハンドブック別冊)を作成し、全職員及び学生に配付したことは評価できる。

2 項目別評価 総括表

公立大学法人福島県立医科大学

評価項目	公立大学法人自己評価				評価委員会評価	
	計画達成の状況				項目別評価	評価における特記事項

合計	A	4	B	205	C	13	D	2	224
----	---	---	---	-----	---	----	---	---	-----

注1:自己評価の考え方

- A・・・年度計画を上回って実施している
- B・・・年度計画を予定どおりに実施している(達成度がおおむね90%以上)
- C・・・年度計画を下回って実施している(達成度がおおむね60%以上90%未満)
- D・・・年度計画を大幅に下回っている、または実施していない(達成度が60%未満)

注2:評価委員会の評価の考え方

- I・・・年度計画を十分に実施できている
- II・・・年度計画をおおむね実施できている
- III・・・年度計画を十分に実施できていない
- IV・・・年度計画を実施できていない